

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	野生生物保護管理施設等整備費	担当部局庁	自然環境局 大臣官房	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度	担当課室	野生生物課 会計課	課長 亀澤 玲治 課長 中井 徳太郎			
会計区分	一般会計	施策名	5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律第45条、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第28条・第29条	関係する計画、通知等	保護増殖事業計画 鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の絶滅のおそれのある希少野生動植物の保護増殖事業の推進及び国指定鳥獣保護区のうち国際条約で登録された重要な渡り鳥の飛来地の保護の推進を図るための拠点となる施設の整備・改修等を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①国自らが指定・管理する鳥獣保護区でありラムサール条約登録湿地でもあるその保全を適切に図るのに必要な拠点施設を整備・改修する(H23年度は国指定濤沸湖(とうふつこ)鳥獣保護区において、濤沸湖水鳥・湿地センターの建設を行った)。 ②絶滅のおそれのある希少動植物の保全を行うために必要な既存施設の整備改修等、または野生順化施設等の整備を行う(H23年度はツシマヤマネコ野生順化施設の測量・設計、トキの野生復帰施設の改修、レブンアツモリソウ立入り防止柵の補修等を行った)。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	270	190	254	304	226
		補正予算	64	0	0	0	
		繰越し等	40	41	100	30	
		計	374	230	354	334	132
	執行額	367	224	343			
執行率(%)	98%	97%	97%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	希少野生動植物種の保護増殖、また、重要な渡り鳥の飛来地の保護管理を目標としており、そのための施設の整備・改修等で、定量的な成果目標を示すことは困難。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	H23年度においては濤沸湖水鳥湿地センターの建設、ツシマヤマネコ野生順化施設の測量・設計、トキの野生復帰施設及びレブンアツモリソウ立入り防止柵の改修等を行った。希少野生動植物の保護増殖及び国際的にも重要な渡り鳥の飛来地の保護管理のための施設の整備・改修等であり、定量的な活動指標を示すことは困難。	活動実績 (当初見込み)	野生生物保護管理施設改修	改修	改修	改修	
		濤沸湖	基本設計・測量	実施設計	建設		
		ツシマヤマネコ順化施設			設計・測量	建設	
単位当たりコスト	-(円/ー)		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	301	224				
	施設施工旅費	1	1				
	施設施工庁費	2	1				
	計	304	226				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ラムサール条約湿地として必須の自然環境学習の場及び感染症にかかる調査研究等の場の整備として、また絶滅危惧種の保護のための施設の改修及び整備であり、国が自ら優先的に実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定については、一般競争入札、企画競争入札、随意契約等、適切に実施している。施設整備に係る受益者の負担割合はないため、適切な負担関係である。また費目・使途については、設計、新築・外構工事、内部展示工事等、施設整備・改修に真に必要なものである。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	施設設計・測量、施設建設、施設改修等の活動実績は、他の手段では実施できない内容であり、また着実に事業を進めている。希少野生動植物の保護増殖及び国際的にも重要な渡り鳥の飛来地の保護管理のための施設の整備・改修等であり、類似の事業はない。なお、現在までに整備した水鳥・湿地センター、野生生物保護センター等については、希少種保護活動、調査研究、自然活動推進の拠点として十分に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	上記点検を行い、平成23年度に関しても引き続き適切に実施されていると判断が出来た。平成23年度に濤沸湖施設整備が終了し、平成25年度は平成24年度に引き続きツシマヤマメコ野生順化施設の建設(平成26年度まで)に取り組むものとする。また平成24年度実施分も含め施設整備に当たっては、過去の同様の施設の建設等を参考にし、契約方式や整備内容の効率化・合理化に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	施設整備の内容及び金額を精査し、概算要求額の縮減に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	事業規模を見直し、必要最低限度の概算要求額となるよう減額。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	196	平成23年行政事業レビュー	187

A.			E. 那覇自然環境事務所:パイオニア電設(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			施設費	西表野生生物保護センターカメラ改修工事	1
計			計		1
B. 北海道地方環境事務所:高道建設(株)			F. 北海道:(株)早水組		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設費	レプンアツモリソウ立入り防止柵設置	2	施設費	濤沸湖水鳥・湿地センター新築・外構工事	158
計		2	計		158
C. 釧路自然環境事務所:ユニオンデータシステム(株)			G. 新潟県:(株)佐渡造園土木		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	濤沸湖鳥獣保護区施設整備に伴う 秋期希少鳥類調査業務	1.4	施設費	トキ飼育繁殖施設安全対策強化工事	12
一般管理費		0.3			
旅費		0.2			
消費税		0.1			
借料及び損料		0.07			
印刷製本費		0.03			
消耗品費		0.003			
計		2.1	計		12
D. 九州地方環境事務所:(株)プレック研究所			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設費	ツシマヤマメコ野生順化施設の測 量・設計	11			
計		11	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員	濤沸湖水鳥・湿地センター整備等に係る旅費	0.7	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	高道建設(株)	レブンアツモリソウ立入り防止柵設置	2	随契(少額)	—
2	(株)高田組	宮島沼水鳥・湿地センター緊急補強工事	1	随契	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユニオンデータシステム(株)	濤沸湖鳥獣保護区施設整備に伴う秋期希少鳥類調査業務	2	5	74%
2	小林(株)	濤沸湖水鳥・湿地センター備品購入	1	随契	—
3	NPO法人EnVision環境保全事務所	濤沸湖鳥獣保護区区域図作成業務	0.4	随契	—
4	(株)大成印刷	濤沸湖ちらし作成及び折込料	0.3	随契	—
5	個人A	会議等出席に係る旅費	0.3	—	—
6	(株)タナカ	国指定濤沸湖鳥獣保護区制札等移設業務	0.2	随契	—
7	(有)フジヤ書店	図書購入	0.2	随契	—
8	(株)タナカ	濤沸湖ヒオウギアヤマ植戻し業務	0.1	随契	—
9	(株)さっぽろ自然調査館	濤沸湖鳥獣保護区施設整備に伴う植物移植検討・指導業務	0.1	随契	—
10	オホーツク網走農業協同組合	北浜改善センター使用料	0.01	随契	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)プレック研究所	ツシマヤマネコ野生順化施設整備に必要な測量、基本設計、実施設計	11	企画競争	—
2	(株)プレック研究所	上記設計に基づく広報用スケッチ図の作成	0.2	随契(少額)	—
3	対馬住宅設備(株)	備品購入	0.1	随契(少額)	—
4	ミトマ教育システム	備品購入	0.1	随契(少額)	—
5		1は支出額その他、30百万円を次年度繰り越し			

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パイオニア電設(株)	西表野生生物保護センターカメラ改修工事	1	随契(少額)	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)早水組	濤沸湖水鳥・湿地センター新築・外構工事	158	5	85%
2	(株)丹青社	濤沸湖水鳥・湿地センター内部展示施設工事	72	2	94%
3	(株)道北電気	濤沸湖水鳥・湿地センター電気設備工事	38	10	99%
4	(株)カネキ柏原	濤沸湖水鳥・湿地センター機械設備工事	26	11	92%
5	(株)岡田設計	濤沸湖水鳥・湿地センター工事監理委託業務	7	随契	—
6	(株)タナカ	国指定濤沸湖鳥獣保護区湿性植物仮移植工事	3	随契	—
7	サンコー事務機(株)	物品契約(消耗品)	0.8	随契	—
8	サンコー事務機(株)	複写機賃貸借契約	0.5	随契	—
9	太陽興産(株)	物品契約(消耗品)	0.3	随契	—
10	(株)北海道職員弘済会	物品契約(消耗品)	0.2	随契	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)佐渡造園土木	トキ飼育施設安全対策強化工事	12	2	99%
2	(有)三浦電気	電気柵警報工事	0.1	随契	—